

春彼岸・秋彼岸

中日開催

「写仏の集い」

「十三佛掛け軸」作成

新規参加者募集のご案内

ご挨拶

当山では、毎年春・秋のお彼岸の中日に写仏・仏画の教室を開催しております。

日本美術院院友、愛知芸大模写班、藤田哲也先生を講師にお招きし、この四年間「両界曼荼羅」ご本尊様作成を題材に、取り組み、本年秋彼岸には無事その完成を見たところであります。

そして明平成二十八年よりは「十三佛」の御本尊様作成を目指し、新たな気持ちのうえ、取り組みでまいります。

是非この機会にご参加頂きますようご案内申し上げます。

写仏未経験の方、丁寧に指導、お手伝いをさせていただきます。

完成を迎え共に喜びあえればとも思っております。

この機会を良き仏縁とし、是非とも参加の程、重ねてご案内申し上げます。

十三佛とは

室町時代より、亡くなった方々への追善供養として、十三回の仏事にそれぞれの仏・菩薩を配した、総称を云う。

初七日から三十三回忌まで各回忌にそれぞれの仏様が司り、仏の功德を亡き人に廻らすと共に、その善行を行った者にも、死後の裁きの時、救済されるという信仰であるそうです

十三佛 一覧

回忌	本尊	意味
初七日	不動明王	未練・迷いを断ち切り、悪を焼き尽くし、心願成就へ向かわせる。
二七日	釈迦如来	無常の理を説き。道理を示し、不安を除く
三七日	文殊菩薩	釈迦の説法を活かす智慧を説く。命を生かす智慧を授ける。
四七日	普賢菩薩	文殊の智慧を活かす行を説く。命を生かす活動を救ける。
五七日	地蔵菩薩	閻魔王の裁きの時、亡者を救済する。六道の苦を救済する
六七日	弥勒菩薩	第二の釈迦として説法を継ぎ、心を落ち着かせ正しい判断を救ける。
七七日	薬師如来	新たな身を授ける。身体を健康を守る。
百か日	観世音菩薩	亡者を蓮台にすくい上げる。優しさを授け、慈悲の活動を救ける。
一周忌	勢至菩薩	亡者を先導する。仏の智慧を授ける。
三回忌	阿弥陀如来	極楽の教主、亡者を教化する。安らぎの世界を示し安らかな暮らしを導く。
七回忌	阿しゅく如来	新たな命に向け、堅固な意志を授ける。迷いに打ち勝つ強い心を授ける
十三回忌	大日如来	宇宙の根本教主として、一切の衆生を見守る
十七回忌		
二十三回忌		
二十七回忌		
三十三回忌	虚空蔵菩薩	安らぎを与え、菩薩にする。大空の心を授け、理想の姿を示す

私達の心の支えとなり、私達を日々、見守って下さる仏様をどうぞ、亡き人のためご自身のために、信仰を深めていただければと願うところです。

平成28年 春 ・ 秋彼岸 開催

『 写仏の集い 』 ～十三佛掛け軸～

新規参加者募集のご案内

当山では春彼岸・秋彼岸と年に二回、「写仏の集い」を開催しております。
今回平成28年春彼岸より数年を掛け、「十三佛の掛け軸」を作成してまいります。
ご先祖様の為、災害被災者の為、ご自身の為、大切な方の為、お寺で時間を過しながら、ご供養の思い ・ ご自身の願いを「掛け軸」として形にしてみませんか。
初心者・経験者問わず、どなたでもご参加いただけます。
道具等はお寺にてご準備致しますので、手ぶらでご参加下さい。
初心者の方には、筆の持ち方から筆運び、諸注意等を丁寧にご指導させていただきますので、先ずはご友人をお誘いしながらでも、気軽にご参加下さい。

講師 日本美術院院友・愛知芸大模写班 藤田哲也氏
開催日 春彼岸 ・ 秋彼岸 中日
参加費 毎回 3000円 (抹茶・お菓子)付き
時間 13時～(2時間程度)
場所 松雲閣2階ホール

※ 事前準備のため開催前に申込を頂けますようお願いいたします

お問い合わせ

密蔵院 彼岸「写仏の集い」事務局 担当 かわきた

TEL 048 (296) 0774

FAX 048 (294) 8938

----- きりとり -----

参加申込書

ふりがな	
参加者氏名	
住所	〒 ー
連絡先	自宅 ()
	携帯 ()